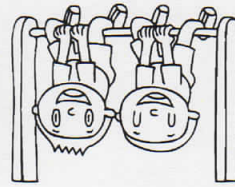


# 光が丘四季の香小学校研究だよりNo.1



平成26年5月12日(月)  
光が丘四季の香小学校  
校長 富澤 素子  
校内研究推進部

校庭の緑も力強さを増してきました。子供たちの元気な声が校庭に響きわたっています。保護者、地域の皆様には、日頃から本校の教育活動にご協力、ご支援いただき誠にありがとうございます。

さて、光が丘四季の香小学校では、昨年度から理科・生活科の研究を重点的に行っています。研究テーマは、

「自ら考え 表現する力の育成 ～学び合い 高め合う 問題解決の活動を通して～」

です。理科・生活科における問題解決的な学習を通して、四季の香小学校の子供たちが、自分の考えをしっかりともち、その考えを相手にしっかりと伝えることができるよう、教職員がよりよい授業展開、指導方法等について校内で研究しています。

研究授業、研究協議会を年間6回計画しており、教職員が互いの授業を参観し、その後の協議会でより良い指導方法や指導技術、理科・生活科の専門的知識等を協議しています。さらに、講師として、理科は元玉川大学教育センター教授畑中喜秋先生、生活科は石神井小学校主幹教諭根本裕美先生をお招きし、助言や指導・講評をいただく場も設けていきます。

今年度も本校の研究活動を保護者、地域の皆様にも知っていただきたく、この「光が丘四季の香小学校研究だより」に研究授業や協議会、研修会などの様子を掲載していきます。

まずは、4月16日(水)の5時間目に実施した5年1組「発芽の条件」(指導者：忍那真教諭)の授業、協議会の様子をご紹介します。

## <問題>

種子が発芽するには、空気が必要なのだろうか？

流れ図(前時までの学習内容を記した掲示物)を見ながら、前時までの流れを振り返っています。



植物も酸素がないと生きていけないから、空気は必要な。

種子が発芽するには、空気が必要かどうかを予想し、理由を考えました。

「自分で学びタイム」(自分の考えをもつ時間)では、空気の必要性を確かめるための実験計画を、言葉や図を使ってノートに書きました。

## <発芽の条件を調べるために…>

- 子供たちが、植物の発芽に興味・関心をもてるよう、実際に学校の花壇や畑に行き、観察したり、写真を撮って比較したりしました。
- 春の草花を探しに行き、季節感を味わう中で、植物は春に発芽しているという視点を大切にしました。